

園田東中だより

令和2年6月号
～ 夢一途 ～
地域の東中をめざして

誰もが行きたくなる学校づくり

品格教育 6月 月間目標

「思いやり」

相手の気持を考えて行動しよう。

感謝の気持を持ち、「ありがとう」を言いましょう。
「ありがとう」と言われる行動をしましょう。
相手の話をしっかりと聴きましょう。
人の悪口や嫌なことをやめましょう。
人に対して優しく接しましょう。

～ 学校の新しい生活様式を守って ～

分散登校の2週間が終わり。今年度はじめて、全校生揃っての学習活動の再開です。
コロナ感染防止のため、今までと違った新しいスタイルでの学校生活になりますが、「命」を守っていくため、手洗い・うがい・マスク・換気・密接を避けること守り生活しましょう。

1年生は新入生として、先生方や先輩方に教えてもらいながら、2年生は学校の中心として、3年生は学校の柱として勉強にスポーツに文化にしっかりと取り組んで下さい。



～ 学校生活再開に向けての注意事項 ～

分散登校中の学校生活はどの学年も素晴らしかったです。授業中の勉強に取り組む姿勢、身体測定の時状態や移動での他者を思いやる態度には、心をうたれました。

先日の朝礼で話をしましたが、園田東中学校の教育目標の1つに「命を大切にする」があります。「命」を大切にするためには、一言一言の言葉を相手のことを考え発言することが必要です。SNSの書き込みも同じです。自分と意見が合わない人に対して悪口を簡単に書き込んでしまい、それに同調して書き込む人もでてきます。人は、強そうに見えても些細な言葉で心に傷を受けるものです。常に思いやりをもって相手を傷つけない行動を心掛けましょう。

「君は、刃物を持っている」

君は、刃物を持っているんだよ とびきり切れ味のいい刃物！
いつもポケットに入れて持ち歩いている どこでも、すぐ出して使える刃物
そんな怖いもの、持っていないよ！ 君はそういうに違いない
だが、持っている・・・ たしかに刃物を肌身離さず持っている・・・
その刃物は、目に見えない 普通の綱で出来た、あんな刃物じゃない
言葉としての刃物・・・ 生き方としての刃物・・・
「いじめ」「のけ者」「悪口」「陰口」・・・ しいたげる言葉の数々
体も心も切られれば、同じように痛む
体の傷からは、赤い血が流れる 心の傷からは、苦しみのうめき声流れる
差別の刃物は、目に見えないから怖い 意識しないで使うことだってある
恐ろしい刃物 それをすべての人が持っている
「私はもう、学校に行くのがいやになった」
「今日もまた、あの人から悲しい あの言葉が私に向かって」
「どうしてあんなに、人の心を傷つけて平気なんだろう」
意識してやろうと 無意識にやろうと 心の痛みが変わりない・・・
深く大きな傷跡が残ることもある 絶対に使ってはならない刃物
目に見えない刃物の怖さ
そんな怖い刃物だから 自分の中から無くしていく努力を・・・

(ハッ塚 実先生の学級通信より抜粋)

～ 6月 行事予定 ～

1日(月)～12日(金)分散登校 8日(月)3年身体測定 9日(火)2年身体測定
10日(水)1年身体測定 11日(木)・12日(金)尿検査・食券販売
17日(水)職員会議 18日(木)・19日(金)クラブ見学(1年生)
22日(月)～26日(金)クラブ仮入部 30日(火)学力生活実態調査(3年)

